



あしたの賃貸
プロジェクト

あしたの賃貸プロジェクト 第1回シンポジウム ～住むだけでなく、その人らしく「暮らせる」集合住宅づくり～

住宅改良開発公社設立65周年を記念して、これからの住宅の在り方を見つめなおし、自分らしく暮らせる住まいを実現させるため、賃貸住宅に何ができるか、どうサポートしていくかを考え行動する「あしたの賃貸プロジェクト」を始動いたします。

プロジェクトの第一弾として、この度シンポジウムを開催することとしました。賃貸住宅業界をリードする第一人者をお招きして、賃貸住宅の歴史から未来、まちづくり、コミュニティ、賃貸住宅の社会的役割などをテーマにしたご講演をいただきます。このシンポジウムを起点として、賃貸住宅オーナー、事業者、研究者など、賃貸住宅に関わる多くの方々とともにプロジェクトを展開していきます。

*住宅改良開発公社は、1955年に設立され、住宅金融支援機構や沖縄振興開発金融公庫、民間金融機関による賃貸住宅融資に係る保証、賃貸住宅の管理・経営、住まいやまちに関する調査研究事業を行っております。

主催：一般財団法人 住宅改良開発公社 後援：独立行政法人 住宅金融支援機構

開催日時：2020年12月2日（水）13:00よりオンライン配信

開催方法：YouTubeでのライブ配信 ※視聴は事前予約制

- ・事前にご登録をお願いいたします。 ・お申し込み締め切りは12月1日（火）17時までです。
- ・参加費は無料ですが、視聴にかかるデータ通信料は自己負担となります。
- ・お申し込み後の流れ：後日、ご登録いただいたメールアドレスに視聴用URLをお送りいたします。
開始時間の10分前をめどにURLにアクセスをお願いします。

参加
無料

ご視聴には、事前申し込みが必要です。

お申し込みはこちらから 2020年12月1日（火）17:00まで
<https://ashitanochintaipj.com>



第1回シンポジウム開催記念書籍

「社会とともに生きる賃貸住宅 200の図表でみる住まいと暮らし」
プレゼント！ ※シンポジウム参加後アンケートのご記入をお願いいたします。



今回のシンポジウムにも登壇する、
大月 敏雄氏、大島 芳彦氏、生亀理事長の座談会を収録。

著者：松本眞理 出版：株式会社ぎょうせい 定価（1,700円＋税）

※画像はイメージです。

お問い合わせ先

一般財団法人 住宅改良開発公社
住まい・まち研究所

Tel : 03-3237-7411 (代)

email : hid_001@kairyokousya.or.jp



一般
財団法人

住宅改良開発公社



あしたの賃貸
プロジェクト

あしたの賃貸プロジェクト 第1回シンポジウム

～住むだけでなく、その人らしく「暮らせる」集合住宅づくり～

2020年12月2日(水) 13:00-17:00 プログラム



13:00-13:10 ごあいさつ

一般財団法人住宅改良開発公社 理事長 **生亀 孝志**

「あしたの賃貸プロジェクト」が始動する

一人ひとりの自分らしい暮らしを実現する、賃貸住宅はそうした想いに応え得る可能性に満ちているのではないかと…「あしたの賃貸プロジェクト」では、こうしたことを皆さんと考えていく。

1975年建設省(現国土交通省)入省。国土交通政策研究所所長、(一社)日本建設業連合会専務理事を務めた後、2018年7月住宅改良開発公社理事長に就任。



13:10-14:10 講演1 理論編

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 **大月 敏雄**

「日本の賃貸住宅：その来し方と行く末」

日本の住宅双六では、今なお戸建て持ち家が分譲マンションが目指されているようだが、近年ようやく賃貸系の住宅に、新たな付加価値を付け加えることで、分譲系住宅が到底持ち得ない魅力が獲得されつつある。その傾向を歴史の中で読み解き、未来の賃貸の行方を論じる。

1967年福岡県生まれ。東京大学工学部建築学科卒業、同大学院博士課程単位取得退学。博士(工学)。横浜国立大学工学部建設学科助手、東京理科大学工学部建築学科准教授を経て現職。専門は建築計画、住宅地計画、ハウジング。著書に『近居 少子高齢社会の住まい・地域再生にどう活かすか』(編著、学芸出版社)、『集合住宅の時間』(王国社)、『町を住みこなす 超高齢社会の居場所づくり』(岩波書店)、『「住む」ための事典』(編著、彰国社)ほか。



14:15-14:55 講演2 実践編

株式会社ブルースタジオ専務取締役 **大島 芳彦**

「共感の環に育まれる賃貸共同住環境」

住宅とは消費の対象ではなく育み成長させる住環境でなければならない。共同住宅しかり。デザインすべきは暮らしのビジョン。育むべきは共感の環でつながる生活当事者の共同体。

2000年より「リノベーション」を旗印に遊休資産の再生、価値最大化をテーマとした設計・コンサルティング事業を展開。不動産の資産活用企画を手がける一方で、自治体とともに地域再生、郊外団地再生、小学校再編などの都市スケールの再生プロジェクトから、不動産を超えた企業CI、プロダクトブランディングなど多角的な社会価値の創造に取り組む。団地再生プロジェクト「ホジノタニ団地」で2016年度グッドデザイン金賞(経産大臣賞)受賞。2017年1月にはNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。



15:00-15:40 講演3 実践編

スペースRデザイン 代表取締役 **吉原 勝己**

「賃貸住宅経営者・管理者の経営ビジョンが、住まいを変える、賃貸を変える、まちを変える」

賃貸住宅の課題を社会課題解決事業ととらえ35棟を再生。そのビジョンをもとに九州17都市の空き家再生プロデューサーと連携し、経年賃貸、老朽団地、商店街活性化に活動中。自らの活動の紹介を通じて、縮小時代のまちの人のための賃貸住宅のあり方を考えていく。

1961年福岡市清川生まれ。株式会社スペースRデザインと吉原住宅有限会社の社長を兼任。生まれ育った福岡のまちを愛し、福岡市のまちづくりの市民研究員としても活躍。意外にも、前職は製薬会社の研究開発員である。まだ「リノベーション」という言葉さえ知られていなかった福岡で、ビル再生を始め、ブランディングによる「ビンテージビル」というまったく新しい概念を広めた。



15:45-16:15

一般財団法人 住宅改良開発公社「住まい・まち研究所」所長 **松本 眞理**

株式会社DGコミュニケーションズ「まちの未来デザインユニット」ユニット長 **和泉 段**

あしたの賃貸プロジェクト活動報告

賃貸住宅の可能性について事例を基に報告し、これからの「あしたの賃貸プロジェクト」の活動の内容、方向性について紹介する。

松本 眞理: 法政大学大学院経営学専攻修士課程修了。住宅金融支援機構で主に賃貸住宅融資部門を担当。2018年より、一般財団法人住宅改良開発公社住まい・まち研究所長、一級建築士、経営学修士、カラーコーディネーター一級。

和泉 段: 1970年横浜市生まれ。明治大学理工学部建築学科卒業。山本理頭設計工場勤務。建築設計に従事したのち、広告代理店に転身。大手ペロップをクライアントとする案件を多数手がける。2016年よりDGコミュニケーションズでプランナーとして、まちづくり、既存団地のエリアマネジメント、CRE(企業不動産)リノベ事業など、地域や暮らしに関わる分野の、コンセプトや仕組みづくり、コミュニケーションデザインなどに携わっている。ディスプレイ産業賞、サインデザイン賞。



16:20-17:00 質疑応答